

「適切な評価」について考え、
その内容・目的＋方法を知る。
【何を(what)・なぜ(why)＋いかに(how)】

— 『教育方法』第15(最終)回 —

[pp.1-71]

学習指導要領の総則の(12)で 評価について求められる配慮:

①

第1章 総則:文部科学省 - Windows Internet Explorer

 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/n

②

(12) 生徒の や の状況
などを積極的に評価するととも
に, の過程や成果を評価
し, の改善を行い
の向上に生かすようにすること。

◎

学習指導要領の総則の(12)で 評価について求められる配慮:

①

第1章 総則:文部科学省 - Windows Internet Explorer

 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/n

②

(12) 生徒の**よい点**や  の状況
などを積極的に評価するととも
に,  の過程や成果を評価
し,  の改善を行い 
の向上に生かすようにすること。

◎

学習指導要領の総則の(12)で 評価について求められる配慮:

①

第1章 総則:文部科学省 - Windows Internet Explorer

 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/n

②

(12) 生徒の**よい点**や**進歩**の状況
などを積極的に評価するととも
に、の過程や成果を評価
し、の改善を行い
の向上に生かすようにすること。

◎

学習指導要領の総則の(12)で 評価について求められる配慮:

①

第1章 総則:文部科学省 - Windows Internet Explorer

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/n...

②

(12) 生徒の**よい点**や**進歩**の状況
などを積極的に評価するととも
に、の過程や成果を評価
し、の改善を行い**学習意欲**
の向上に生かすようにすること。

◎

学習指導要領の総則の(12)で 評価について求められる配慮:

①

第1章 総則:文部科学省 - Windows Internet Explorer

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/n...

②

(12) 生徒の**よい点**や**進歩**の状況
などを積極的に評価するととも
に、の過程や成果を評価
し、の改善を行い**学習意欲**
の向上に生かすようにすること。

◎

学習指導要領の総則の(12)で 評価について求められる配慮:

①

第1章 総則:文部科学省 - Windows Internet Explorer

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/n

②

(12) 生徒の**よい点**や**進歩**の状況
などを積極的に評価するととも
に、**指導**の過程や成果を評価
し、の改善を行い**学習意欲**
の向上に生かすようにすること。

◎

学習指導要領の総則の(12)で 評価について求められる配慮:

①

第1章 総則:文部科学省 - Windows Internet Explorer

 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/n

②

(12) 生徒の**よい点**や**進歩**の状況
などを積極的に評価するととも
に、**指導**の過程や成果を評価
し、**指導の改善**を行い**学習意欲**
の向上に生かすようにすること。

◎

学習指導要領の総則の(12)で 評価について求められる配慮:

①

第1章 総則:文部科学省 - Windows Internet Explorer

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/n

②

(12) 生徒の**よい点**や**進歩**の状況などを積極的に評価するとともに、**指導**の過程や成果を評価し、**指導の改善**を行い**学習意欲**の向上に生かすようにすること。

◎

生徒の「」や「」→学習の向上

教師の「指導のや」→指導の

①何を何のために評価するか？

②そのための具体的方法とは？

◎そもそも「評価」とは？

評価@英= (を認めす)

生徒の「よい点」や「」→学習の向上

教師の「指導のや」→指導の

①何を何のために評価するか？

②そのための具体的方法とは？

◎そもそも「評価」とは？

評価@英= (を認めす)

生徒の「よい点」や「進歩」→学習 の向上

教師の「指導の や 」→指導の

①何を何のために評価するか？

②そのための具体的方法とは？

◎そもそも「評価」とは？

評価@英= (を認め す)

生徒の「よい点」や「進歩」→学習意欲の向上

教師の「指導の や 」→指導の

①何を何のために評価するか？

②そのための具体的方法とは？

◎そもそも「評価」とは？

評価@英= (を認め す)

生徒の「よい点」や「進歩」→学習意欲の向上

教師の「指導の過程や」→指導の

①何を何のために評価するか？

②そのための具体的方法とは？

◎そもそも「評価」とは？

評価@英= (を認め)

生徒の「よい点」や「進歩」→学習意欲の向上

教師の「指導の過程や成果」→指導の

①何を何のために評価するか？

②そのための具体的方法とは？

◎そもそも「評価」とは？

評価@英= (を認め す)

生徒の「よい点」や「進歩」→学習意欲の向上

教師の「指導の過程や成果」→指導の改善

①何を何のために評価するか？

②そのための具体的方法とは？

◎そもそも「評価」とは？

評価@英= (を認め す)

生徒の「よい点」や「進歩」→学習意欲の向上
↑

教師の「指導の過程や成果」→指導の改善

①何を何のために評価するか？

②そのための具体的方法とは？

◎そもそも「評価」とは？

評価@英= (を認め す)

生徒の「よい点」や「進歩」→学習意欲の向上
↑

教師の「指導の過程や成果」→指導の改善

①何を何のために評価するか？

②そのための具体的方法とは？

◎そもそも「評価」とは？

評価@英= (を す)

生徒の「よい点」や「進歩」→学習意欲の向上
↑

教師の「指導の過程や成果」→指導の改善

①何を何のために評価するか？

②そのための具体的方法とは？

◎そもそも「評価」とは？

評価@英=e/valu/ate(を す)

生徒の「よい点」や「進歩」→学習意欲の向上
↑

教師の「指導の過程や成果」→指導の改善

①何を何のために評価するか？

②そのための具体的方法とは？

◎そもそも「評価」とは？

評価@英=e/valu/ate(■を□□す)

生徒の「よい点」や「進歩」→学習意欲の向上
↑

教師の「指導の過程や成果」→指導の改善

①何を何のために評価するか？

②そのための具体的方法とは？

◎そもそも「評価」とは？

評価@英=e/valu/ate(価値を す)

生徒の「よい点」や「進歩」→学習意欲の向上
↑

教師の「指導の過程や成果」→指導の改善

①何を何のために評価するか？

②そのための具体的方法とは？

◎そもそも「評価」とは？

評価@英=e/valu/ate(価値を認め \square す)

生徒の「よい点」や「進歩」→学習意欲の向上
↑

教師の「指導の過程や成果」→指導の改善

①何を何のために評価するか？

②そのための具体的方法とは？

◎そもそも「評価」とは？

評価@英=e/valu/ate(価値を認め引き出す)

生徒の「よい点」や「進歩」→学習意欲の向上
↑

教師の「指導の過程や成果」→指導の改善

①何を何のために評価するか？

②そのための具体的方法とは？

◎そもそも「評価」とは？

評価@英=e/valu/ate(価値を認め引き出す)

「価値を認め引き出す」ための要件@指導要領

1. 「」や「」を認める。

How?: ↓目標の網羅

A. 的な評価

B. () 評価 (順位vs.得点) や 評価 (ポートフォリオ)
例: TOEIC 例: 会議室自習・英語力

2. 教師自身の「」を評価し、 改善する。

C. 評価 (毎回の「授業」の評価) → 学習 (ブルーム)
例: ドリル、Q&A、表情、机間指導、 … ↑ mastery learning → 例

「価値を認め引き出す」ための要件@指導要領

1. 「よい点」や「」を認める。

How?: ↓目標の網羅

A. 的な評価

B. () 評価 (順位vs.得点) や 評価 (ポートフォリオ)
例: TOEIC 例: 会議室自習・英語力

2. 教師自身の「」を評価し、 改善する。

C. 評価 (毎回の「授業」の評価) → 学習 (ブルーム)
例: ドリル、Q&A、表情、机間指導、 … ↑ mastery learning → 例

「価値を認め引き出す」ための要件@指導要領

1. 「よい点」や「 」を認める。

How?: ↓目標の網羅

A. 多面的な評価(的参加、 と 、 と →)

B. ()評価(順位vs.得点)や 評価(ポートフォリオ)
例: TOEIC 例: 会議室自習・英語力

2. 教師自身の「 」を評価し、 改善する。

C. 評価(毎回の「授業」の評価)→ 学習(ブルーム)
例: ドリル、Q&A、表情、机間指導、 … ↑ mastery learning → 例

「価値を認め引き出す」ための要件@指導要領

1. 「よい点」や「 」を認める。

How?: ↓目標の網羅

A. 多面的な評価(積極的参加、 と 、 と →)

B. ()評価(順位vs.得点)や 評価(ポートフォリオ)
例: TOEIC 例: 会議室自習・英語力

2. 教師自身の「 」を評価し、 改善する。

C. 評価(毎回の「授業」の評価)→ 学習(ブルーム)
例: ドリル、Q&A、表情、机間指導、 … ↑ mastery learning → 例

「価値を認め引き出す」ための要件@指導要領

1. 「よい点」や「 」を認める。

How?: ↓目標の網羅

A. 多面的な評価(積極的参加、思考と
、 と →)

B. ()評価(順位vs.得点)や
例: TOEIC
評価(ポートフォリオ)
例: 会議室自習・英語力

2. 教師自身の「 」を評価し、 改善する。

C. 評価(毎回の「授業」の評価)→
例: ドリル、Q&A、表情、机間指導、
学習(ブルーム)
… ↑ mastery learning → 例

「価値を認め引き出す」ための要件@指導要領

1. 「よい点」や「 」を認める。

How?: ↓目標の網羅

A. 多面的な評価(積極的参加、思考と理解、
と →)

B. ()評価(順位vs.得点)や
例: TOEIC
評価(ポートフォリオ)
例: 会議室自習・英語力

2. 教師自身の「 」を評価し、 改善する。

C. 評価(毎回の「授業」の評価) →
例: ドリル、Q&A、表情、机間指導、
学習(ブルーム)
… ↑ mastery learning → 例

「価値を認め引き出す」ための要件@指導要領

1. 「よい点」や「 」を認める。

How?: ↓目標の網羅

A. 多面的な評価(積極的参加、思考と理解、知識と →)

B. ()評価(順位vs.得点)や 評価(ポートフォリオ)
例: TOEIC 例: 会議室自習・英語力

2. 教師自身の「 」を評価し、 改善する。

C. 評価(毎回の「授業」の評価) → 学習(ブルーム)
例: ドリル、Q&A、表情、机間指導、 … ↑ mastery learning → 例

「価値を認め引き出す」ための要件@指導要領

1. 「よい点」や「」を認める。

How?: ↓目標の網羅

A. 多面的な評価(積極的参加、思考と理解、知識と技能→)

B. () 評価(順位vs.得点) や 評価(ポートフォリオ)
例: TOEIC 例: 会議室自習・英語力

2. 教師自身の「」を評価し、改善する。

C. 評価(毎回の「授業」の評価) → 学習(ブルーム)
例: ドリル、Q&A、表情、机間指導、… ↑ mastery learning → 例

「価値を認め引き出す」ための要件@指導要領

1. 「よい点」や「」を認める。

How?: ↓目標の網羅

問題

A. 多面的な評価(積極的参加、思考と理解、知識と技能→解決)

B. () 評価(順位vs.得点)や
例: TOEIC

評価(ポートフォリオ)
例: 会議室自習・英語力

2. 教師自身の「」を評価し、 改善する。

C. 評価(毎回の「授業」の評価)→
例: ドリル、Q&A、表情、机間指導、

学習(ブルーム)
… ↑ mastery learning → 例

「価値を認め引き出す」ための要件@指導要領

1. 「よい点」や「」を認める。

How?: ↓目

ペーパーテストのみでは不十分!



問題

A. 多面的な評価 (積極的参加、思考と理解、知識と技能 → 解決)

B. () 評価 (順位vs.得点) や 評価 (ポートフォリオ)
例: TOEIC 例: 会議室自習・英語力

2. 教師自身の「」を評価し、改善する。

C. 評価 (毎回の「授業」の評価) → 学習 (ブルーム)
例: ドリル、Q&A、表情、机間指導、… ↑ mastery learning → 例

「価値を認め引き出す」ための要件@指導要領

1. 「よい点」や「進歩」を認める。



How?: ↓ 目

ペーパーテストのみでは不十分!



問題

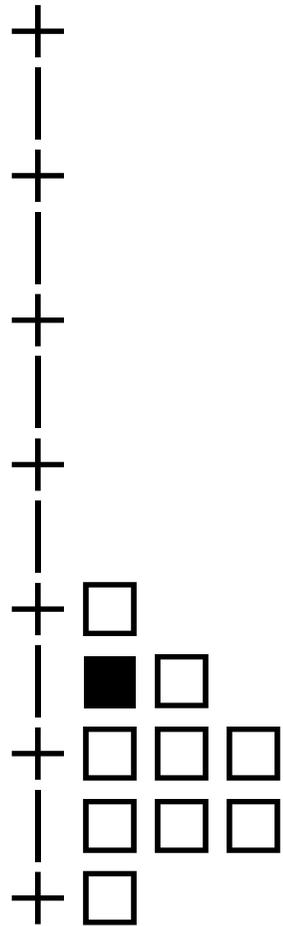
A. 多面的な評価 (積極的参加、思考と理解、知識と技能 → 解決)

B. () 評価 (順位vs.得点) や 評価 (ポートフォリオ)
例: TOEIC 例: 会議室自習・英語力

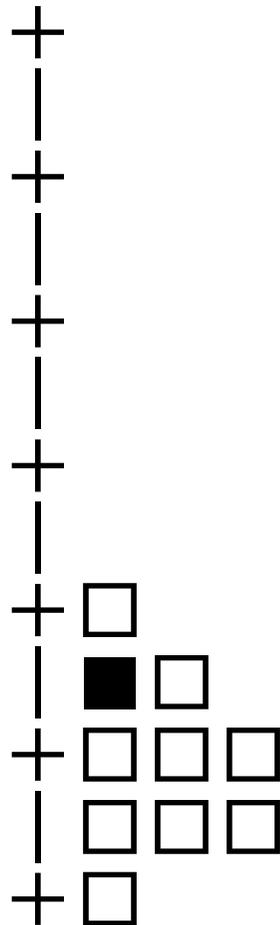
2. 教師自身の「 」を評価し、改善する。

C. 評価 (毎回の「授業」の評価) → 学習 (ブルーム)
例: ドリル、Q&A、表情、机間指導、 … ↑ mastery learning → 例

相对评价

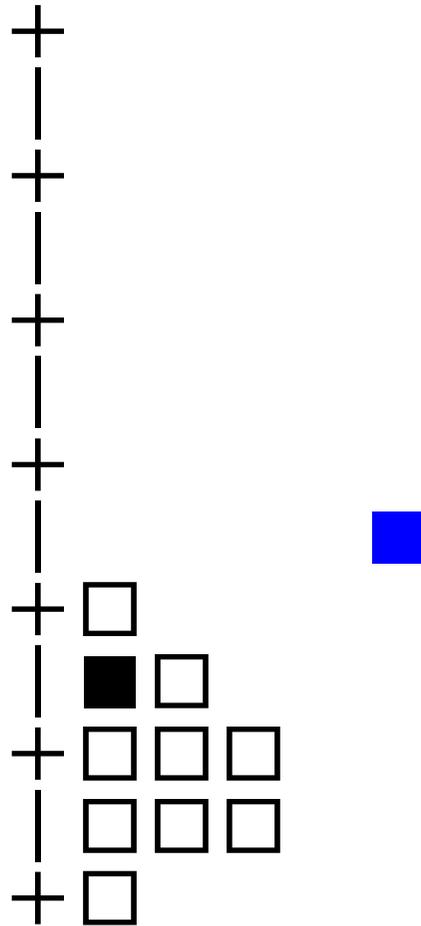


相対評価

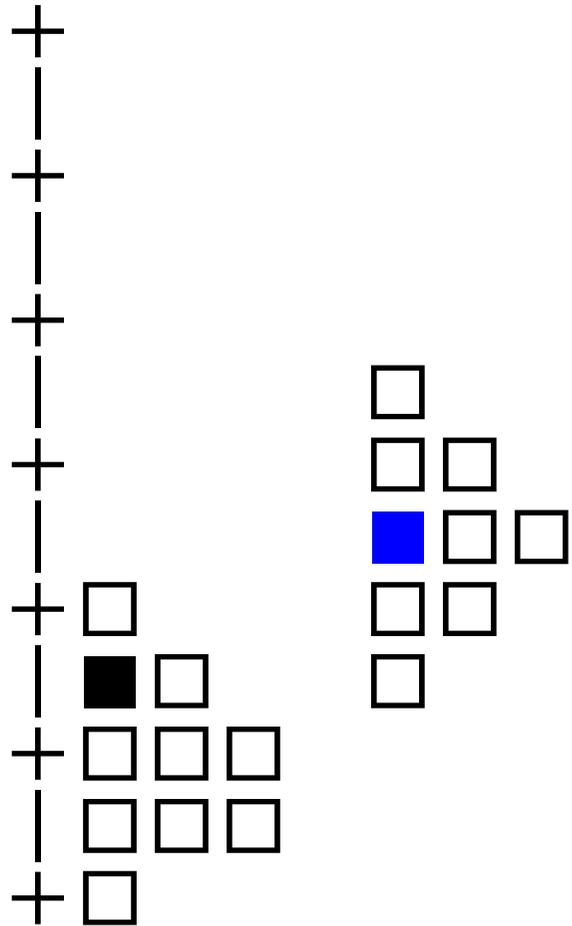


[広辞苑 第六版 DVD-ROM版 - 動画・画像・]
そうたい-ひょうか【相対評価】サウ・ヒヤウ・
教育評価の一つ。ある一定の集団の中の
相対的な位置によって、個人の能力や学
力を判断・評価する方法。↔絶対評価。

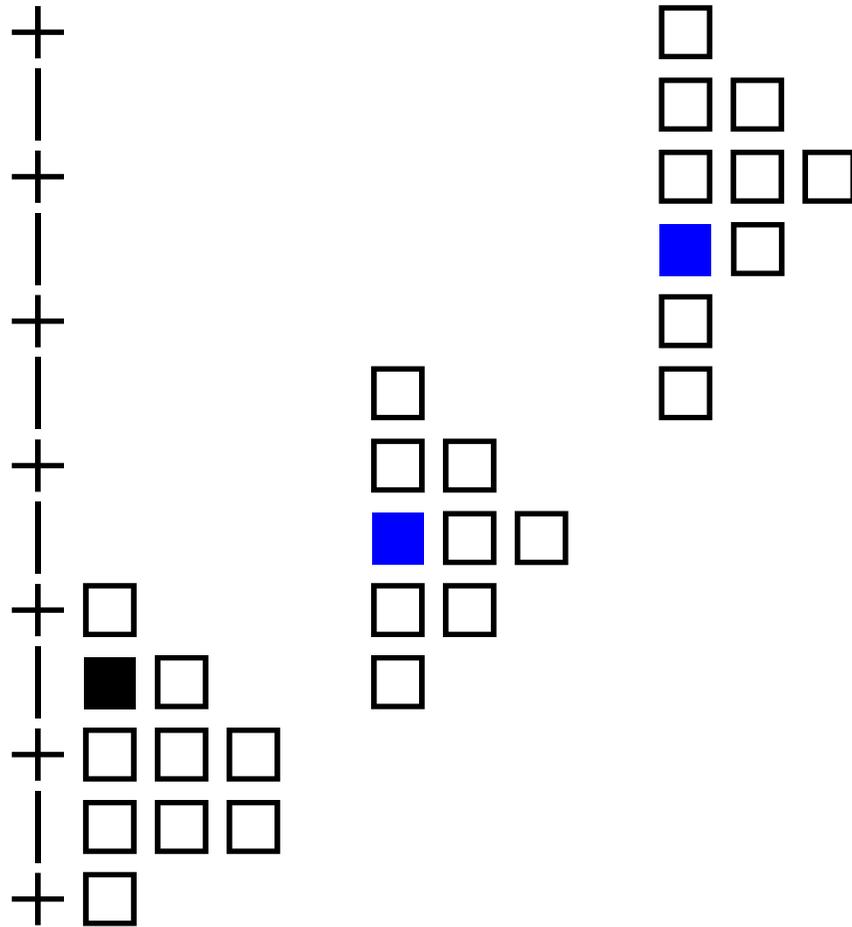
相对評価



相对評価

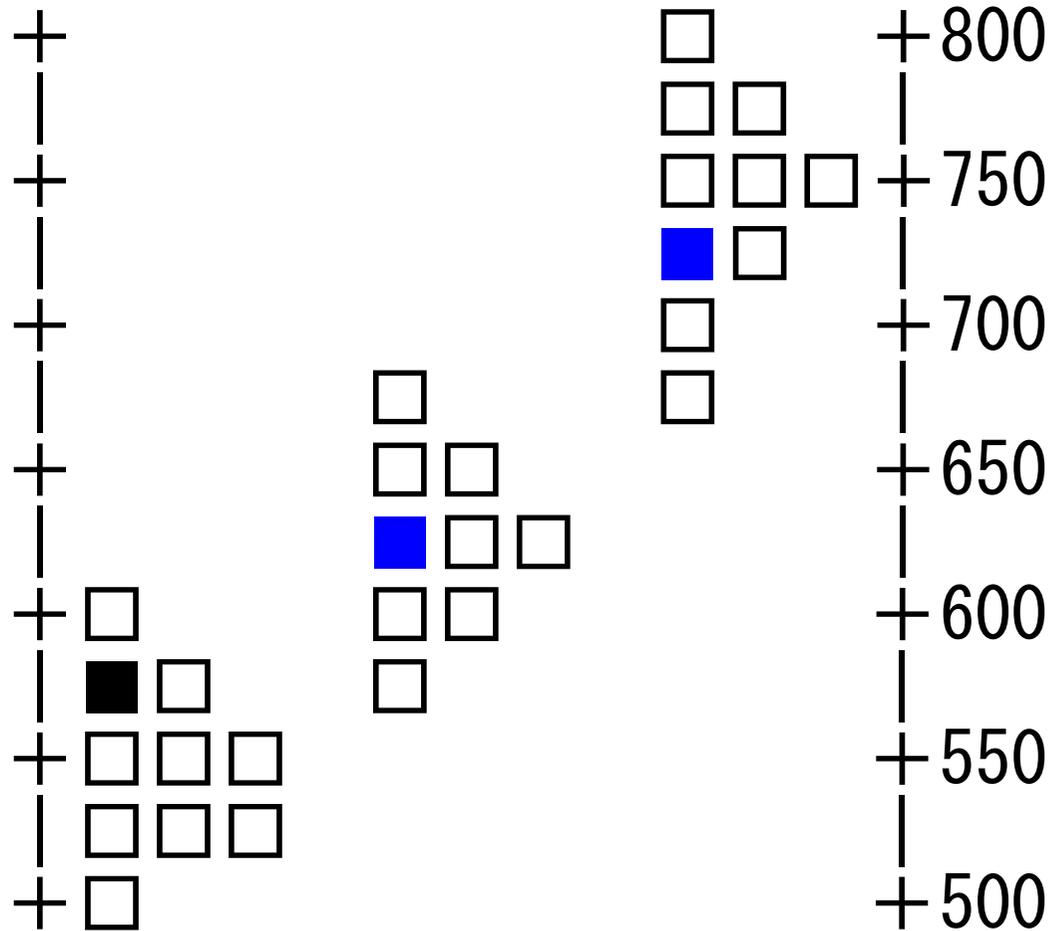


相对評価



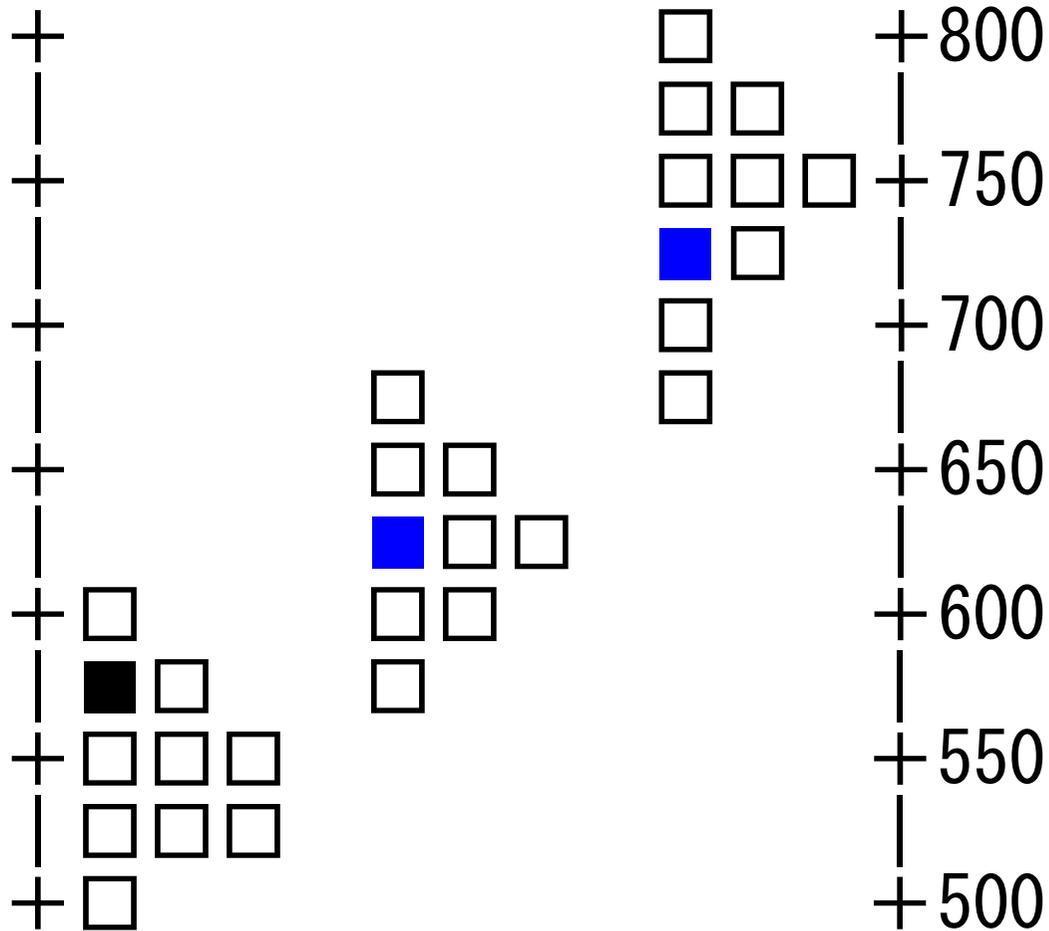
相对評価

vs.



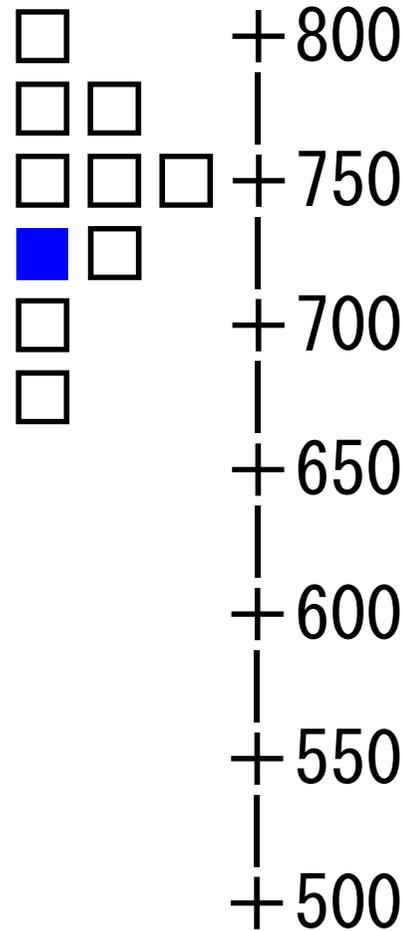
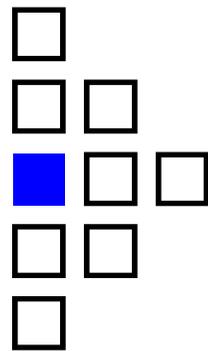
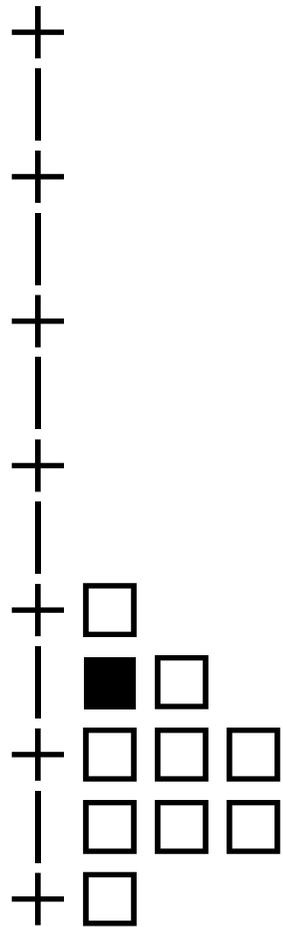
相对評価

vs. 絶対(到達度)評価



相対評価

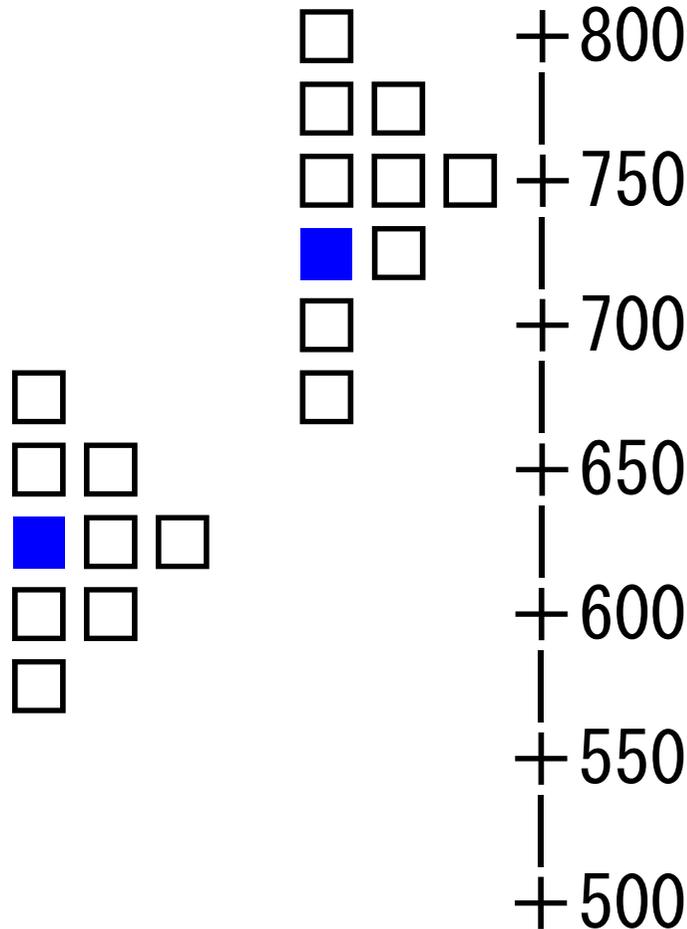
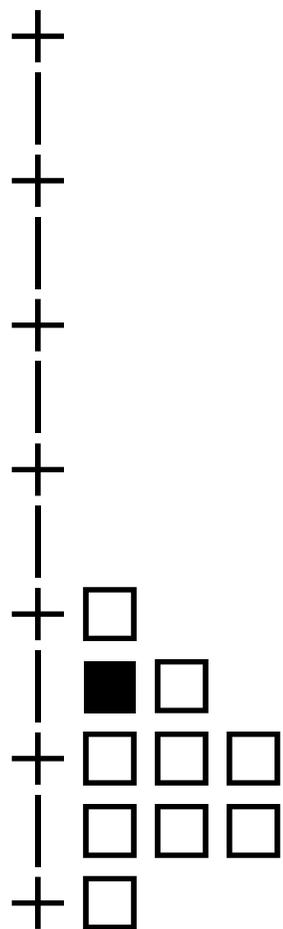
vs. 絶対(到達度)評価



[広辞苑 第六版]
ぜったい-ひょうか
【絶対評価】
教育評価の一つ。
一定の基準に照
らして個人の変化
・発達を測定・評
価する方法。↔
相対評価。

相対評価

vs. 絶対(到達度)評価



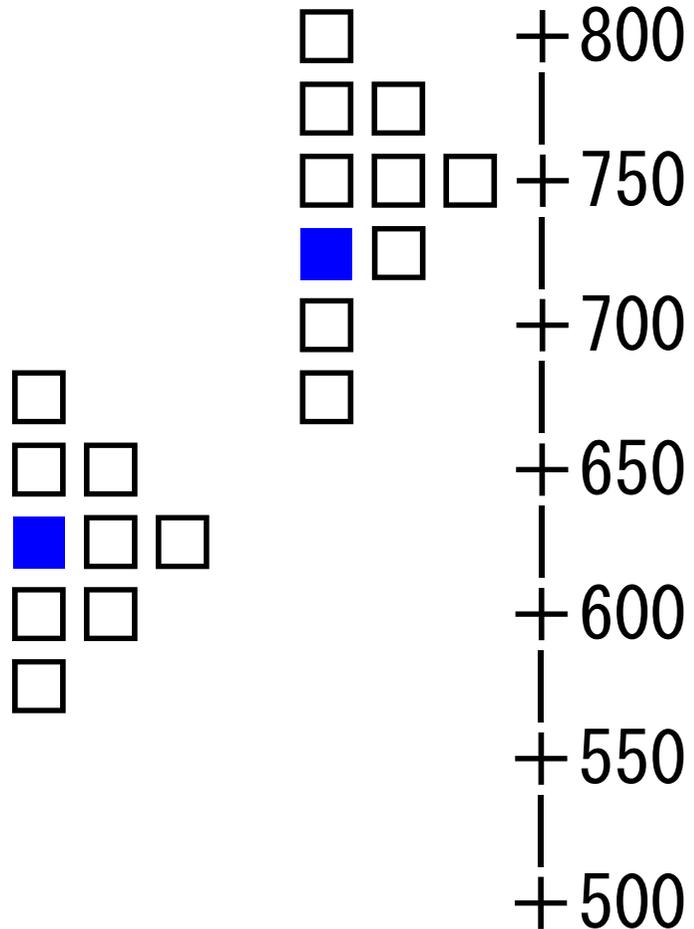
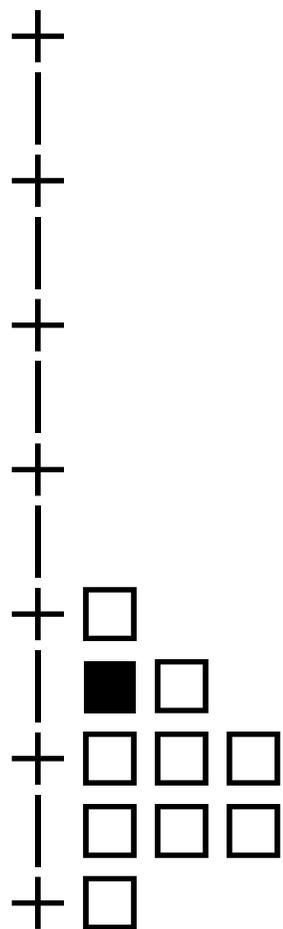
③改善が期待できる充実した「指導法+教材」の

②既存の有益資料(含本授業の内容※)を活用した十分な
と中間発表
※各学習理論・映像・

①重要性のある「」の特定

相対評価

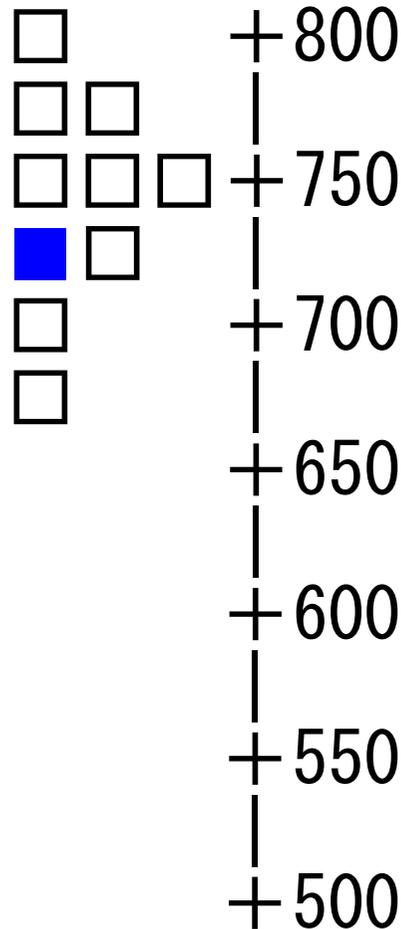
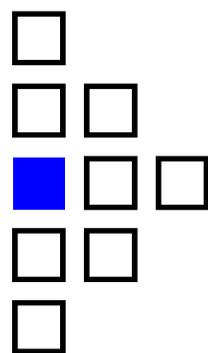
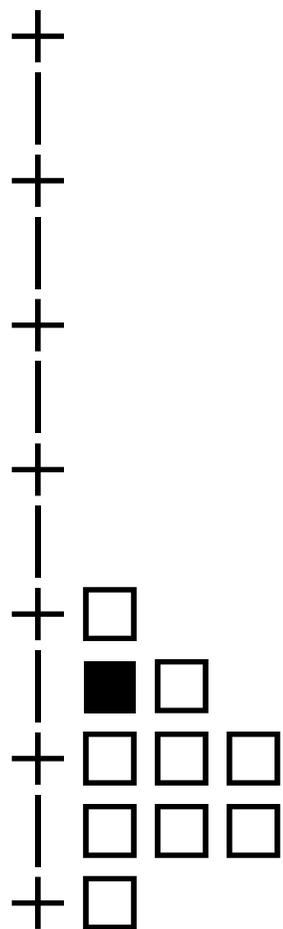
vs. 絶対(到達度)評価



- ③改善が期待できる充実した「指導法+教材」の
- ②既存の有益資料(含本授業の内容※)を活用した十分な と中間発表
- ※各学習理論・映像・・・
- ①重要性のある「問題」の特定

相対評価

vs. 絶対(到達度)評価



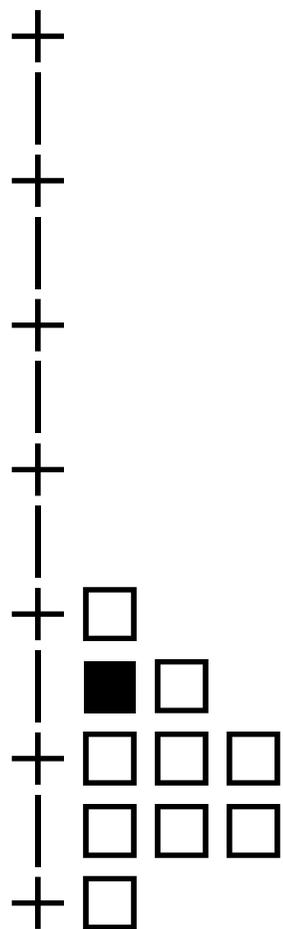
③改善が期待できる充実した「指導法+教材」の

②既存の有益資料(含本授業の内容※)を活用した十分なTOTEと中間発表

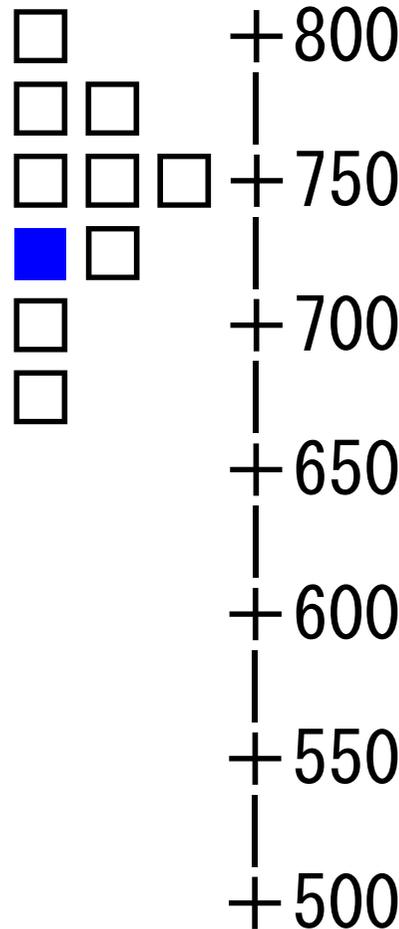
※各学習理論・映像・

①重要性のある「問題」の特定

相対評価



vs. 絶対(到達度)評価



③改善が期待できる充実した「指導法+教材」の提出

②既存の有益資料(含本授業の内容※)を活用した十分なTOTEと中間発表

※各学習理論・映像・

①重要性のある「問題」の特定

「価値を認め引き出す」ための要件@指導要領

1. 「よい点」や「進歩」を認める。

How?: ↓目標の網羅

問題

A. 多面的な評価(積極的参加、思考と理解、知識と技能→解決)

B. () 評価(順位vs.得点)や
例: TOEIC

評価(ポートフォリオ)
例: 会議室自習・英語力

2. 教師自身の「 」を評価し、 改善する。

C. 評価(毎回の「授業」の評価)→ 学習(ブルーム)
例: ドリル、Q&A、表情、「質問など」+BBS… ↑ mastery learning→例

「価値を認め引き出す」ための要件@指導要領

1. 「よい点」や「進歩」を認める。

How?: ↓目標の網羅

問題

A. 多面的な評価(積極的参加、思考と理解、知識と技能→解決)

B. 到達度(絶対)評価(順位vs.得点)や
例: TOEIC

評価(ポートフォリオ)
例: 会議室自習・英語力

2. 教師自身の「 改善する。」

C. 評価(毎回の「授業」の評価)→ 学習(ブルーム)
例: ドリル、Q&A、表情、「質問など」+BBS… ↑ mastery learning→例

「価値を認め引き出す」ための要件@指導要領

1. 「他方「相対評価こそが重要な場合もあることに留意！」を認める。

H 例: 「集団内の順位」で 問題
A. 多 が決まる「試験」 (考と理解、知識と技能 → 解決)

B. 到達度(絶対)評価(順位vs.得点)や 評価(ポートフォリオ)
例: TOEIC 例: 会議室自習・英語力

2. 教師自身の「」を評価し、改善する。

C. 評価(毎回の「授業」の評価) → 学習(ブルーム)
例: ドリル、Q&A、表情、「質問など」+BBS… ↑ mastery learning → 例

「価値を認め引き出す」ための要件@指導要領

1. 「他方「相対評価こそが重要」な場合もあることに留意！」を認める。

H 例: 「集団内の順位」で合否
A. 多 が決まる「 試験」 (考と理解、知識と技能 → 問題解決)

B. 到達度(絶対)評価 (順位vs.得点) や 評価 (ポートフォリオ)
例: TOEIC 例: 会議室自習・英語力

2. 教師自身の「 」を評価し、改善する。

C. 評価 (毎回の「授業」の評価) → 学習 (ブルーム)
例: ドリル、Q&A、表情、「質問など」+BBS… ↑ mastery learning → 例

「価値を認め引き出す」ための要件@指導要領

1. 「他方「相対評価こそが重要な場合もあることに留意！」を認める。

H 例: 「集団内の順位」で合否
A. 多 例: 「集団内の順位」で合否が決まる「選抜試験」 (考と理解、知識と技能 → 問題解決)

B. 到達度(絶対)評価(順位vs.得点) や 評価(ポートフォリオ)
例: TOEIC 例: 会議室自習・英語力

2. 教師自身の「 」を評価し、改善する。

C. 評価(毎回の「授業」の評価) → 学習(ブルーム)
例: ドリル、Q&A、表情、「質問など」+BBS… ↑ mastery learning → 例

「価値を認め引き出す」ための要件@指導要領

1. 「よい点」や「進歩」を認める。

How?: ↓目標の網羅

問題

A. 多面的な評価(積極的参加、思考と理解、知識と技能→解決)

B. 到達度(絶対)評価(順位vs.得点)や個人内評価(ポートフォリオ)
例: TOEIC 例: 会議室自習・英語力

2. 教師自身の「 改善する。」

C. 評価(毎回の「授業」の評価)→ 学習(ブルーム)
例: ドリル、Q&A、表情、「質問など」+BBS… ↑ mastery learning→例

「価値を認め引き出す」ための要件@指導要領

1. 「よい点」や

How?: ↓目標の網羅

A. 多面的な評価(積極



B. 到達度(絶対)評価(順位vs.得点)や個人内評価(ポートフォリオ)
例: TOEIC 例: 会議室自習・英語力

2. 教師自身の「 改善する。」

C. 評価(毎回の「授業」の評価) → 学習(ブルーム)
例: ドリル、Q&A、表情、「質問など」+BBS・・・ ↑ mastery learning → 例

「価値を認め引き出す」ための要件@指導要領

1. 「よい点」や

③ “My Dream”
のspeech成功に
導く「作品ノート」
@稲岡先生

② “My story”

① Speech “I”



How?: ↓目標の網羅
A. 多面的な評価(積極

B. 到達度(絶対)評価(順位vs.得点)や個人内評価(ポートフォリオ)
例: TOEIC 例: 会議室自習・英語力

2. 教師自身の「 」を評価し、 改善する。

C. 評価(毎回の「授業」の評価) → 学習(ブルーム)
例: ドリル、Q&A、表情、「質問など」+BBS... ↑ mastery learning → 例

「価値を認め引き出す」ための要件@指導要領

1. 「よい点」や「進歩」を認める。

How?: ↓目標の網羅

問題

A. 多面的な評価(積極的参加、思考と理解、知識と技能→解決)

B. 到達度(絶対)評価(順位vs.得点)や個人内言... フォリオ)
例: TOEIC

vs. ひきこもり

例: 会議室自習・英語力

2. 教師自身の「 改善する。」

C. 評価(毎回の「授業」の評価)→ 学習(ブルーム)
例: ドリル、Q&A、表情、「質問など」+BBS... ↑ mastery learning→例

「価値を認め引き出す」ための要件@指導要領

1. 「よい点」や「進歩」を認める。

How?: ↓目標の網羅

A. 多面的な評価(積極的参加、思考と理解、知識と技能 → 問題解決)

B. 到達度(絶対)評価(順位vs.得点)や個人内言動(対面・対面外、フォーカス)
例: TOEIC vs. ひきこもり 例: 会議室自習・英語力

2. 教師自身の「 改善する。」

C. 評価(毎回の「授業」の評価) → 学習(ブルーム)
例: ドリル、Q&A、表情、「質問など」+BBS... ↑ mastery learning → 例

「価値を認め引き出す」ための要件@指導要領

1. 「よい点」や「進歩」を認める。

How?: ↓目標の網羅

A. 多面的な評価(積極的参加、思考と理解、知識と技能 → 問題解決)

B. 到達度(絶対)評価(順位vs.得点)や個人内言動評価
例: TOEIC

vs. ひきこもり

vs. 日本語

例: 会議室自習・英語力

2. 教師自身の「 改善する。」

C. 評価(毎回の「授業」の評価) → 学習(ブルーム)
例: ドリル、Q&A、表情、「質問など」+BBS… ↑ mastery learning → 例

「価値を認め引き出す」ための要件@指導要領

1. 「よい点」や「進歩」を認める。

How?: ↓目標の網羅

問題

A. 多面的な評価(積極的参加、思考と理解、知識と技能→解決)

B. 到達度(絶対)評価(順位vs.得点)や個人内評価(ポートフォリオ)
例: TOEIC 例: 会議室自習・英語力

2. 教師自身の「指導」を評価し、改善する。

C. 評価(毎回の「授業」の評価)→ 学習(ブルーム)
例: ドリル、Q&A、表情、「質問など」+BBS… ↑ mastery learning→例

「価値を認め引き出す」ための要件@指導要領

1. 「よい点」や「進歩」を認める。

How?: ↓目標の網羅

問題

A. 多面的な評価(積極的参加、思考と理解、知識と技能→解決)

B. 到達度(絶対)評価(順位vs.得点)や個人内評価(ポートフォリオ)
例: TOEIC 例: 会議室自習・英語力

2. 教師自身の「指導」を評価し、改善する。

C. 形成的評価(毎回の「授業」の評価)→ 学習(ブルーム)
例: ドリル、Q&A、表情、「質問など」+BBS・・・ ↑ mastery learning→例

「価値を認め引き出す」ための要件@指導要領

1. 「よい点」や「進歩」を認める。

How?: ↓目標の網羅

問題

A. 多面的な評価(積極的参加、思考と理解、知識と技能→解決)

B. 到達度(絶対)評価(順位vs.得点)や個人内評価(ポートフォリオ)
例: TOEIC 例: 会議室自習・英語力

2. 教師自身の「指導」を評価し、改善する。

C. 形成的評価(毎回の「授業」の評価)→完全習得学習(ブルーム)
例: ドリル、Q&A、表情、「質問など」+BBS・・・ ↑ mastery learning→例

実例：全員（ホボ）満点の「評価」とは：

まず、田尻先生「魔法のテスト」を視聴。

1. レディネスを把握する「評価」

→一般的には単元の初めに行って「教材選択」などに活かす。
(↑↓1. と2. は“指導の□化”のための「評価」)

2. 途中経過を把握する「評価」

→一般にはドリル、Q&A、表情・・・(やコメントカード)

3. 最終成果を把握する「評価」

→生徒に成績をつけ、教師も次年度の授業の改善に活かす。
(mastery learning)

=ブルーム の「学習」
(B.S. Bloom)

実例(全員レベル)満点の「評価」とは:

【広辞苑 第六版 DVD-ROM版】
レディネス【readiness】

学習が成立する準備が整っていること。児童・生徒が困難なく学習できる状態になっていること。

魔法のテスト」を視聴。

1. レディネスを把握する「評価」

→一般的には単元の初めに行って「教材選択」などに活かす。

(↑↓1. と2. は“指導の□化”のための「評価」)

2. 途中経過を把握する「評価」

→一般にはドリル、Q&A、表情・・・(やコメントカード)

3. 最終成果を把握する「評価」

→生徒に成績をつけ、教師も次年度の授業の改善に活かす。

(mastery learning)

=ブルーム の「学習」

(B.S. Bloom)

実例：全員（ホボ）満点の「評価」とは：

まず、田尻先生「魔法のテスト」を視聴。

1. レディネスを把握する「診断的評価」

→一般的には単元の初めに行って「教材選択」などに活かす。

(↑↓1. と2. は“指導の□化”のための「評価」)

2. 途中経過を把握する「 評価」

→一般にはドリル、Q&A、表情・・・(やコメントカード)

3. 最終成果を把握する「 評価」

→生徒に成績をつけ、教師も次年度の授業の改善に活かす。

(mastery learning)

=ブルーム の「 学習」

(B.S. Bloom)

実例：全員（ホボ）満点の「評価」とは：

まず、田尻先生「魔法のテスト」を視聴。

1. レディネスを把握する「診断的評価」

→一般的には単元の初めに行って「教材選択」などに活かす。

(↑↓1. と2. は“指導の  化”のための「評価」)

2. 途中経過を把握する「形成的評価」

→一般にはドリル、Q&A、表情・・・(やコメントカード)

3. 最終成果を把握する「評価

→生徒に成績をつけ、教師も次年度の授業の改善に活かす。

(mastery learning)

=ブルーム の「学習

(B.S. Bloom)

実例：全員（ホボ）満点の「評価」とは：

まず、田尻先生「魔法のテスト」を視聴。

1. レディネスを把握する「**診断的**評価」

→一般的には単元の初めに行って「教材選択」などに活かす。

(↑↓1. と2. は“指導の最適化”のための「評価」)

2. 途中経過を把握する「**形成的**評価」

→一般にはドリル、Q&A、表情・・・(やコメントカード)

3. 最終成果を把握する「**最終的**評価」

→生徒に成績をつけ、教師も次年度の授業の改善に活かす。

(mastery learning)

=ブルーム の「**学習**」

(B.S. Bloom)

実例：全員（ホボ）満点の「評価」とは：

まず、田尻先生「魔法のテスト」を視聴。

1. レディネスを把握する「**診断的**評価」

→一般的には単元の初めに行って「教材選択」などに活かす。

(↑↓ 1. と2. は“指導の最適化”のための「評価」)

2. 途中経過を把握する「**形成的**評価」

→一般にはドリル、Q&A、表情・・・(やコメントカード)

3. 最終成果を把握する「**総括的**評価」

→生徒に成績をつけ、教師も次年度の授業の改善に活かす。

(mastery learning)

=ブルーム の「 学習」

(B.S. Bloom)

実例：全員（ホボ）満点の「評価」とは：

まず、田尻先生「魔法のテスト」を視聴。

1. レディネスを把握する「診断的評価」

→一般的には単元の初めに行って「教材選択」などに活かす。

(↑↓ 1. と2. は“指導の最適化”のための「評価」)

2. 途中経過を把握する「形成的評価」

→一般にはドリル、Q&A、表情・・・(やコメントカード)

3. 最終成果を把握する「総括的評価」

→生徒に成績をつけ、教師も次年度の授業の改善に活かす。

(mastery learning)

=ブルーム

(B.S. Bloom)

の「完全習得学習」

実例：全員（ホボ）満点の「評価」とは：

まず、田尻先生「魔法のテスト」を視聴。

1. レディネスを把握する「**診断的**評価」

→一般的には単元の初めに行って「教材選択」などに活かす。

(↑↓ 1. と2. は“指導の最適化”のための「評価」)

2. 途中経過を把握する「**形成的**評価」

→一般にはドリル、Q&A、表情・・・(やコメントカード)

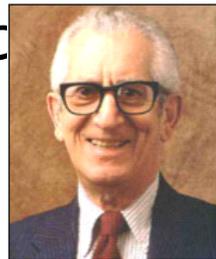
3. 最終成果を把握する「**総括的**評価」

→生徒に成績をついても次年度の授業の改善に活かす。

(mastery learning)

=ブルーム

(B.S. Bloom)



の「**完全習得**学習」